



## 地域の見守りとは

代表 大森正子

郵便受けが一杯になっている。最近ベランダや庭に置かれるゴミが増えてきた。汚れた洋服を着て店にも平気で入るようになった。近所の高齢者がこのようなことになったら、あなたはどのように感じますか？困ったものだ、地域の恥だ、と感じますか。それとも、何かあったのかしら、認知症が進んで生活に困っているのではないかしら、と感じますか。

どのような感じ方であっても、どこかに連絡しなくてはと考える方は多いと思います。誰がみても緊急を要するような場合は、消防署や警察に連絡するでしょう。でも、日常生活上の問題の場合、どこに連絡したらよいのか、他人なのに連絡してもよいものなのか、悩む人が多いのではないのでしょうか。そのような時、勇気を持って「地域包括支援センター」に連絡してください。高齢者の総合相談窓口です。対象は、自分自身であっても、家族であっても、ご近所さんでもよいのです。その一報で、地域で孤立している高齢者を救うことになるかもしれないからです。

ただ見守りという名のもとに行う通報が、地域からの排除を意識したものであれば、それはとても悲しいことです。高齢者・障害者・子ども達、弱者を地域で見守る社会、皆で作っていききたいものです。

## 少しずつ前進



七小校区円卓会議 世話人 長縄宜幸

昨年、「防災のイロハ」と題して講演をさせていただきました。講演後の熱心な質問等を介して、少しでも防災の大切さを理解いただいたと喜んでおります。そこで、この紙面をお借りし、その後の防災の取り組みを、皆さんに報告させて頂きたいと思っております。

さて、われわれ円卓会議は、その後も12月に、昨年に続き防災フェアを開催することができました。

内容は一回目を踏襲するものでしたが、目玉に地域の防災マップを発表しました。このマップは、防災フェアの半年前から、円卓メンバーで月に一回地域をまわり、自分達の手で、防災の現状を確かめたものをまとめたものです。例えば消火器ですが、実際にはケースしかないものや、使用期限が切れているものも多くありました。AEDについても、公的機関以外に設置されているものも発見しました。また、ブロック塀等危険箇所も実際に見て確かめることができ、避難時の危険箇所として確認することが出来ました。今後も地域を廻り、より精査し、実用できる地図作りを行うことを確認したところです。

さらに、その防災フェアを通じ、清瀬市防災防犯課長、清瀬高校校長、第七小学校長の紹介を図り、防災への取り組みの連携がとれる足がかりをつけました。今後は、円卓が中心となって、その連携を深めていきたいと考えております。

ところで、昨年の講演でも少し触れた都立高校の防災の取り組みについてですが、特筆すべきは、今年度の東京都の方針において「地域との連携を図ることを」重要な目標にかかげていることです。6月に清瀬高校の防災委員会に出席した際、上記の説明を受けました。これを受け、円卓会議では、高校の防災合宿になんらかの形で参加することを考えております。七小校区外の人にも是非とも参加していただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

このように少しずつですが、防災の地域力が前進しています。ただ、この前進を地域のものだけにしてはいけません。最近、災害について思うことがあります。実際、清瀬は他の地域に比べれば、津波もなく、液状化もなく、一部の地域を除き、火災の危険度も少ない。逆にこれって、災害の危険のある地域の人達を助ける立場にあるのではないかと思うのです。自分達の地域が共助で安全、安心な街になり、そして他の地域を助ける。そんな理想をおいかけてみたいと思っています。

COFUNは、Community FUREAI Netの短縮形で『こふね』と呼びます。『私も先生!』プロジェクトで報告された資料は、COFUNのホームページに全て掲載しておりますので、ご覧になってください。

## Waiting! 会員交流サロン・情報交換会

あの方を先生に…。こんなことできないかしら…。ちょっと手伝ってほしい…。ただお喋りしたいだけ…。なんでもかまいません。たった1時間半ですが、お茶を用意して待っています。ふらっとお立ち寄りください。

場所： COFUNE事務所

※8月はお休みします。

日時： 毎月第2日曜日 10:30～12:00 (出入り自由)

費用： 100円 (お茶、珈琲、紅茶等)

※ 地域通貨「ピース」会員さんもWelcomeです。

### 私も先生！第5弾

#### 予告

#### 「街歩き山歩き～爽やかな汗と心の健康を求めて」

松山健やかクラブ

櫻井 智さん (松山在住)

いきいきハイキング、悠山楽会 新井紀弘さん (下清戸在住)

9月29日 (日) 14:00～16:00

清瀬けやきホール1F、セミナーハウス



『連載』コラム紹介： 会員の鹿住さんは細菌検査の専門家です。数回シリーズで小説より面白い「結核菌の話」の寄稿をお願いしています。第2話は・・・

### 結核菌の話 第2話

#### どうやって感染するの？

結核菌ってどうやって人に感染するのでしょうか。例えば、結核の患者さんがゴホンって咳をして結核菌が空気中に漂います。そこへ時たま通りかかった人がいて、その人の体内に入ろうとしますが、そう簡単ではありません。スッと息を吸い込んでも直接菌が肺に行くことはできません。

最初の難関は鼻毛です。鼻毛に引っかかってぶらぶらしているうちに、くしゃみなどで外に出されてしまいます。そして運良く鼻毛を通り過ぎても今度は気道にも毛が生えていて、異物が外から中に入らないように工夫されています。その上、肺に到着しても今度は人の免疫細胞という手強い敵が菌に近寄って行きます。この免疫細胞は結核菌と戦えばほとんど勝つと言われ、私たちにとって強い味方です。そしてこれら全てをくぐり抜けると感染に至ります。



鼻毛を大切に… ですね

K (鹿住) \ (。～。)/

事務局： コミュニティふれあいネット (COFUNE) 大森正子  
〒204-0021 清瀬市元町 1-8-20 エスタ清瀬 403  
Tel: 090-6009-4474 Mail: cofune\_kiyose@yahoo.co.jp

URL: <http://cofune.net>

#### 会員募集

COFUNE活動に  
賛同していただ  
ける方、連絡を！  
会費無料

